

《最近の県内経済》 (2022年12月を中心として)

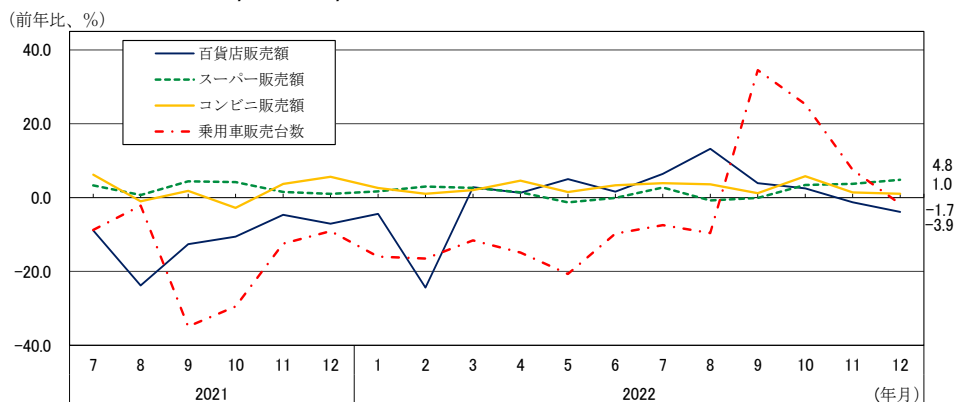
2023年2月28日

今月の概要

緩やかに持ち直している。

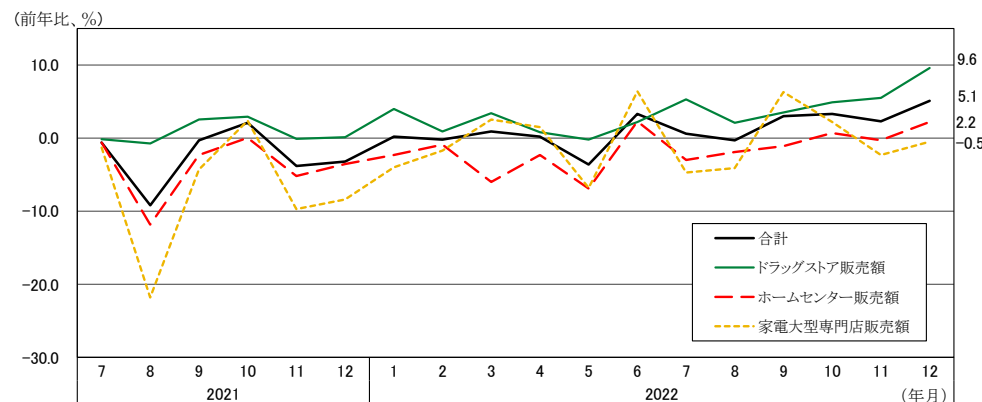
1 個人消費 ~持ち直しの動きが続いている

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、持ち直しの動きが続いている。

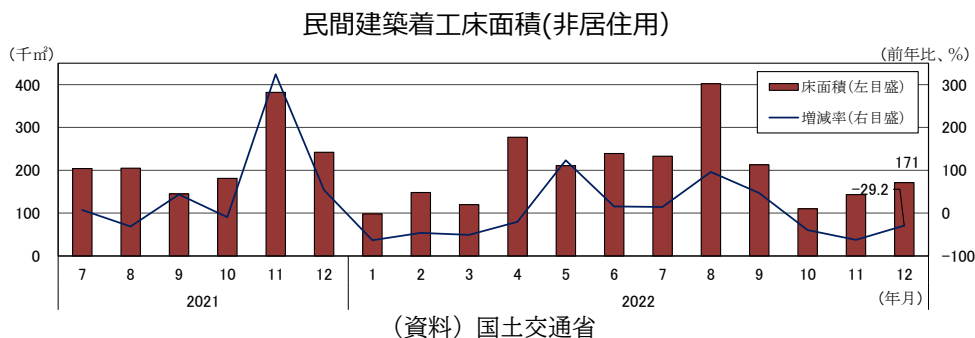
12月の百貨店およびスーパーの販売額(店舗調整前)は、百貨店が173億円で前年比3.9%減(2か月連続の減少)、スーパーは1,216億円で同4.8%増(3か月連続の増加)となった。また、コンビニ販売は584億円で同1.0%増と、14か月連続の増加となった。スーパーやコンビニでは、行楽需要やイベントの再開等により、お弁当や総菜類が好調だった。

また、乗用車販売は、前年比1.7%減と4か月ぶりの減少となった。内訳をみると、軽乗用車が同14.7%増と4か月連続の増加となったものの、普通車は同9.6%減と4か月ぶりの減少、小型車は8.1%減と2か月連続の減少となった。依然として部品供給不足による生産や納車の遅延がみられる。

12月の専門量販店販売額は、883億円で前年比5.1%増と4か月連続の増加となった。内訳をみると家電大型専門店が223億円で同0.5%減(2か月連続の減少)、ドラッグストアが446億円で同9.6%増(7か月連続の増加)、ホームセンターが215億円で同2.2%増(2か月ぶりの増加)となった。

関東1都6県の消費者態度指数(原数値)は、11月<30.3>、12月<31.6>、1月<31.6>で推移している。

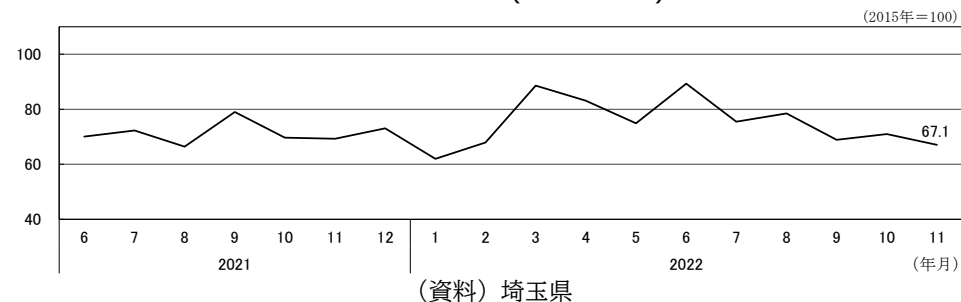
2 設備投資 ~持ち直している



12月の民間建築着工床面積(非居住用)は、171千㎡で前年比29.2%減と3か月連続の減少となった(5か月後方移動平均でも前年比10.0%減)。

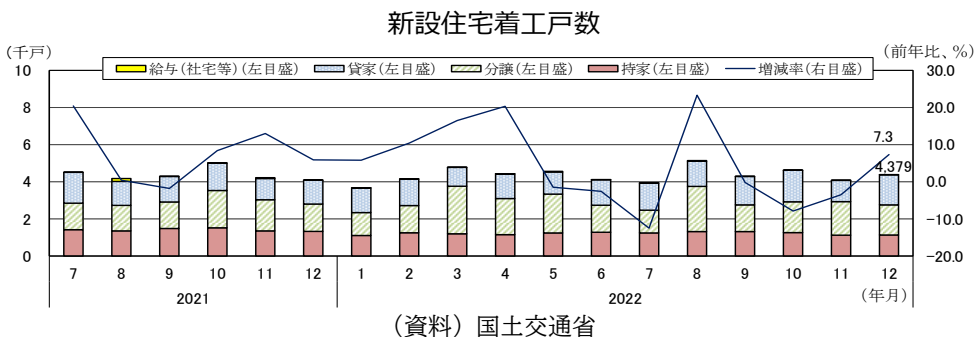
用途別にみると、工場及び作業場、倉庫は増加したものの、事務所、店舗、病院・診療所がいずれも減少した。

資本財出荷指数(季節調整済)



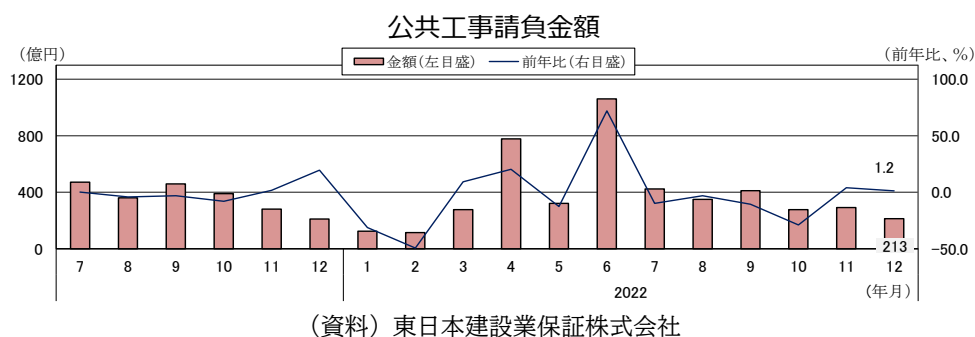
11月の資本財出荷指数(季節調整済)は67.1で、前月比5.5%減と2か月ぶりの減少となった(5か月後方移動平均では、前年比4.4%減)。

3 住宅建設 ~横ばいとなっている



12月の新設住宅着工戸数は、4,379戸で前年比7.3%増と4か月ぶりの増加となった(5か月後方移動平均は3.3%増、3か月ぶりの増加)。利用関係別にみると、持家(1,127戸)が同14.8%減となったものの、貸家(1,618戸)が同26.8%増、分譲マンション(278戸)が同17.8%増、分譲一戸建(1,333戸)が7.8%増といずれも増加した。

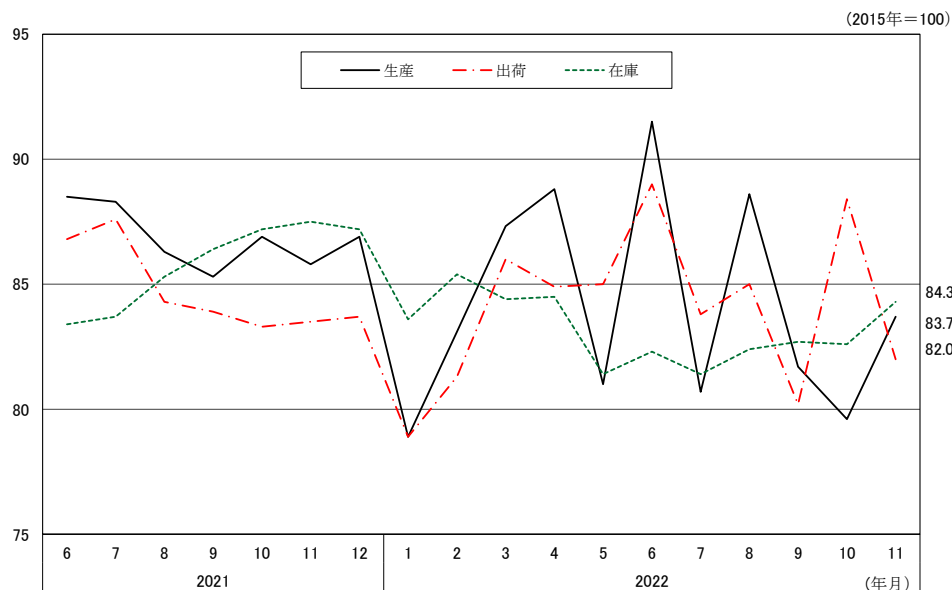
4 公共工事 ~横ばいとなっている



12月の公共工事請負額は213億円、前年比1.2%増となった(2か月連続の増加)。5か月後方移動平均では前年比9.3%減で推移。発注者別で見ると、都道府県、市区町村は減少したものの、国、独立行政法人等は、いずれも増加した。

5 生産活動 ～一進一退

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



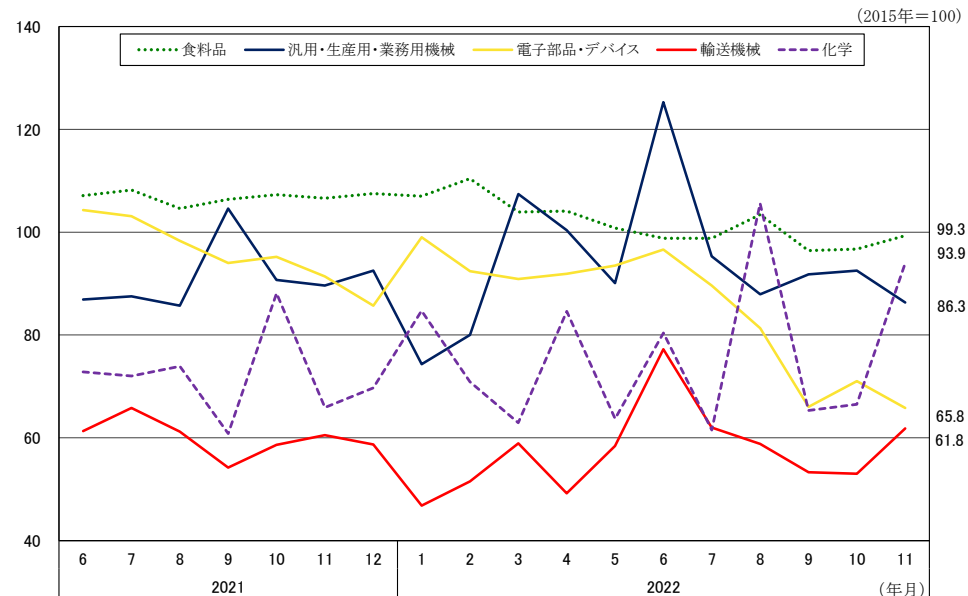
(資料) 埼玉県

11月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、83.7で前月比5.2%上昇した。(3か月ぶりの上昇)。生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置)、電子部品・デバイス(混成集積回路、電子回路版)などが低下したが、化学(医薬品、ウレタンフォーム)、輸送機械(自動車エンジン、乗用車)などが上昇した。

出荷指数(同)は、82.0で同7.2%上昇(2か月ぶりの上昇)。化学(医薬品、印刷インキ)、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置)などが低下したが、輸送機械(乗用車、自動車エンジン)、食料品(チョコレート、アイスクリーム)などが上昇した。

在庫指数(同)は、84.3で同2.1%上昇した(2か月ぶりの上昇)。パルプ・紙・紙加工品(段ボール原紙、雑板紙)、窯業・土石製品(セメント、ガラス製容器類)などが下降したが、情報通信機械(ガス警報器、その他の陸上移動通信装置)、電気機械(クッキングヒーター、食器洗い乾燥機)などが上昇した。

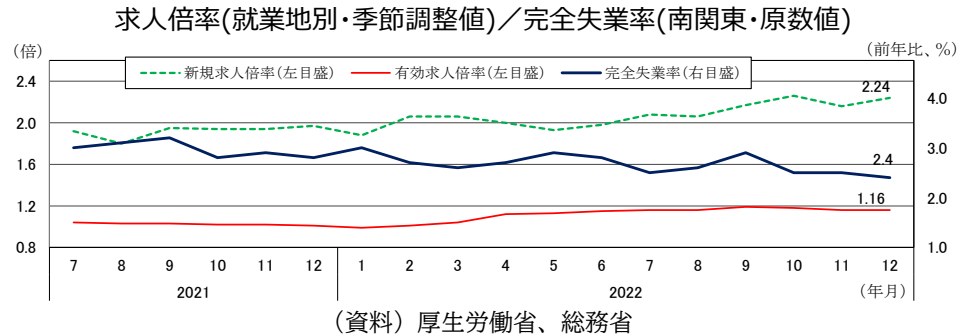
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

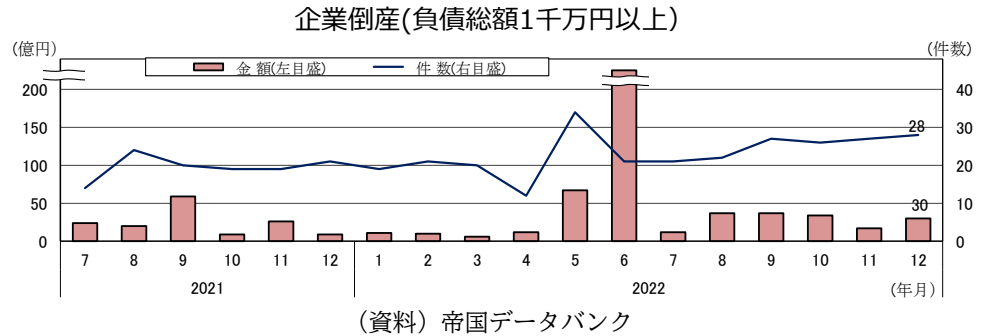
- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、99.3で前月比2.7%上昇、2か月連続の上昇となった。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、86.3で同6.8%低下、3か月ぶりの低下となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、65.8で同7.3%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、61.8で同16.6%上昇し、5か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 化学(同)は、93.9で同41.2%上昇し、2か月連続の上昇となった。

6 雇用情勢 ～穏やかに持ち直している



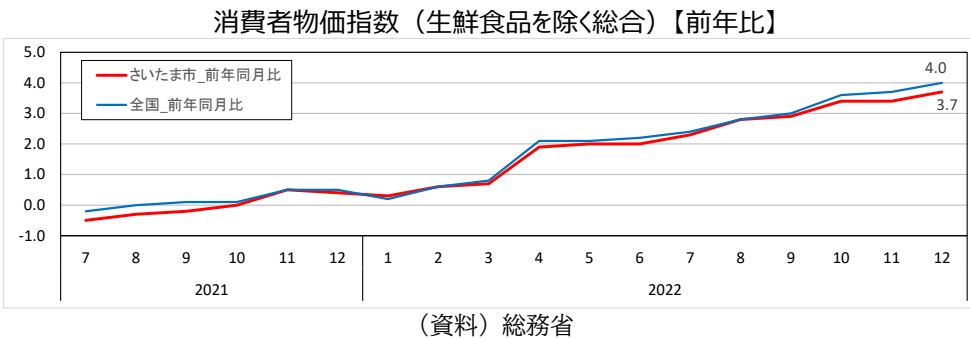
12月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.16倍で前月比横ばいとなった。また、新規求人倍率(同)は、2.24倍で前月比0.08倍上昇した(2か月ぶりの上昇)。
完全失業率(南関東、原数値)は、2.4%で前年同月比0.4%低下した(前年同月比10か月連続の低下)。

7 企業倒産 ～低水準ながら増加傾向にある



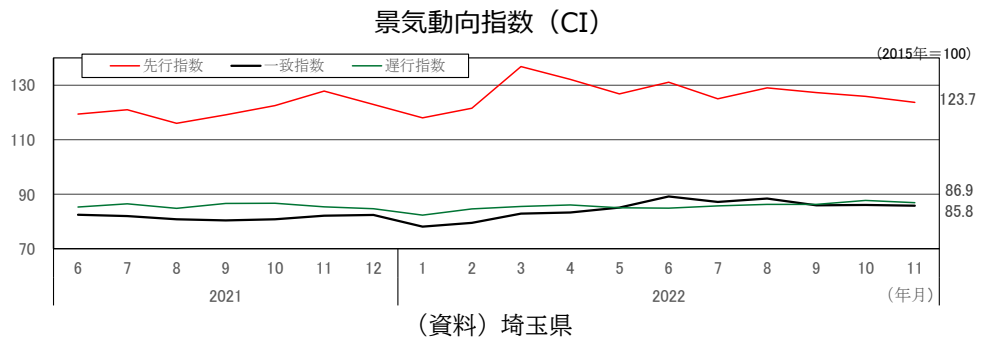
12月の企業倒産件数は、28件で前年同月比7件の増加となった。負債総額は30億円で同21億円の増加となった。
業種別にみると、卸売業が最多で8件、次いで小売業、運輸・通信業がそれぞれ6件、サービス業が4件と続いている。主因別では、販売不振が22件となっている。

8 消費者物価 ～上昇している



12月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は103.6となり前年同月比3.7%上昇した。食料品や光熱費の上昇が全体を押し上げている。

〈参考〉景気動向指数(CI) ～足踏みを示している



- 11月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、85.8で前月比0.3%下降し、2か月ぶりの下降となった。
- CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、123.7で同2.2%下降し、3か月連続の下降となった。
- CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、86.9で同0.8%下降し、5か月ぶりの下降となった。